

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 本巣松陽高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年6月22日(水) 13:10~15:10
- 3 開催場所 本巣松陽高等学校 银杏館会議室
開催にあたり、委員による新校舎の見学を実施した
- 4 参加者

会 長	川治 秀輝	本巣市教育長
副 会 長	長屋 由喜子	公益財団法人加藤記念奨学会理事
委 員	石川 孝信	もとす広域保護司(地域住民代表)
	大草 由美	元PTA会長(地域住民代表)
	池戸 良和	PTA会長
学 校 側	池田 哲也	校長
	種田 昭彦	教頭
	高橋 正人	事務長
	笠井 智子	教務部長
	山本 博	生徒指導部長
	不破 真之介	進路指導部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校経営方針、スクール・ポリシーについて

意見1: 授業改善について、全ての教職員が、自らの指導改善を図るとともに、学習者である生徒の学びに対する主体性を育むという共通認識をもって推進してほしい。

意見2: 「授業アンケート」の質問内容について、座学を中心とする教科・科目の特性等に偏ったものになっており、実技を中心とする教科・科目の特性等の視点を働かせて見直しを図るとよい。

⇒教員の教科指導力及び生徒の学力の向上につながる質問内容を検討する。

⇒第三者(指導主事、小・中学校の教職員、保護者等)による授業参観を予定し

ている。

意見3：地元企業との連携について、学校の位置する地域には多くの企業があり協力が得やすい。本校のような普通科の高等学校が「一日体験入社」などを実施することは大変有意義である。

⇒近日中に、市の関係各課等を訪問する予定にしている。

意見4：生徒の抱く将来の志望は漠然としているだけに、いろいろとチャレンジできる機会を設けるとよい。

(2) 教務部、生徒指導部、進路指導部における具体的な重点目標、重点目標の達成に必要な具体的な取組、方策、達成度の判断、判断基準あるいは評価指標について

意見1：生徒の育成について、学校の準備したものから何かを獲得させていくのではなく、生徒自らが考え設定したものから何かを獲得していくことができるようにしてほしい。

意見2：制服の追加について、昨年度からの継続審議であったが速やかな対応により、制服の選択の幅が広がったことは意義がある。

意見3：生徒のニーズに沿った外部講師による講演会を幅広く開催することは有益である。

⇒今年度においては、これまでの大学等の関係者に加えて、希望する生徒に対して、医療現場に従事する看護師等の講演会の開催を考えている。また、市の関係課と連携して、幼稚園での実習等を検討している。

意見4：いじめについて、生徒一人一人の気持ちに寄り添った支援が大切にされていることに共感できる。

意見5：人とのコミュニケーション能力の育成について、スマートフォンなどのツールでは相手の表情が見えず心が育ちにくい現状があり、学校と家庭が連携して対応するとよい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。また、どの委員からも活発に意見が得られ、本校の課題やその改善のための具体的な手立ての示唆を得た。すぐに改善できる点については、実行していく。また、学校運営協議会委員の方々はもとより、学校の職員間でも情報を共有し、未来志向の学校運営を積極的に行っていくことを確認した。